

警時報

行發日四十二
編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 警時報社
發行所 警時報社
一部金貳圓 一月金十圓
廣告料 一行十圓 諸君五十圓
日刊(日曜紙) 日刊(日曜紙) 日刊(日曜紙)

木炭を種の大詐欺漢

仲間町に潜伏中捕はる 會社の社長に早變り

平署では東京市中野區宮前町百圓の手附金を詐取したのを手前(一)前科一犯木田友治(四)始めに同様手段で東京市世田谷区(二)を重大な詐欺犯人として去谷區上馬町東洋燃料商會石川惣一(三)を同人の妻の實家平市仲右工門から二千五百圓、澁谷區間町緑川トラ方に潜伏中を逮捕 澁谷區木炭商會見官重、船橋茂取調べた結果次のやうな詐欺事件の全貌が判明

詐欺を嗅かぎつけて 重役に割り込む 賣り飛ばして逃走

新井茂(二七)は本田友治を知つて受取つて行術を奪つてゐたもてゐる關係で本田の詐欺事件を嗅ぎつけて乗り込み本田を脅迫して合資會社の重役に割り込むたが、本田の身邊が危うくなつて逃走中を脅迫として東京市淺草口である驛前及び附近一帯に上吉町百非幸太郎氏の斡旋で横濱市某に右會社を六千圓で譲渡する契約を結び内金三千圓を渡す

新川町舗装 平市内

新川町の舗装は國道から市の支關まで種々六頭(頭七十圓)を二六日借受希望者を招き備育方法並に貸付け規程の内容を指示するが

政府米供出週間に 御代副團長の美譽 酒造米百俵を供出

警備村若ヶ岡警防團團長酒造業御代徳治氏は政府供出米の範を垂れる意味で供出米強調週間に二日目の二十三日酒造米百俵を供出し關係者を感激させた

平市で 『羊毛報國』

綿羊は急需要旺盛となるに及んで地方でも飼育熱が高まつてゐるが、市畜業課では一層新道奨励をはかるため今後主として未經験者に種綿報國の實をあげることとなり過放牧増田課長の許でこれが貸付規程を作成する一方本縣川俣附近から來月上旬まで種綿六頭(頭七十圓)を購入するに決つたので來月二十六日借受希望者を招き備育方法並に貸付け規程の内容を指示するが

線有志の歡びを迎へて漸く實現されんとする、右舗装に關する問題は比較的野並の捕はる同町の現狀を其のまゝで施行し難く月見橋から國道に至る延長四百米の幅員最高八米五〇、最小五〇を或る程度まで整理されること、受益者からの寄附が認めれば明年年度豫算に計上所要資材に事欠く様なことな急遽に工を進められるもの、如くであつて、總工費二萬圓を見積られるもの、うち中央六米を縣の支出によつて約一萬五圓、のこる五圓が兩側の溝築と大木片側二米づつ、の軒前舗装(五七)方に玄米三百二十俵を一檢學された

米の闇發覺

一俵一圓三十錢高に賣る

双葉郡廣野村下淺見川田米穀業は之を白米にして警備隊、商根本右平(四)は去る四月十六日日本炭礦等に一升一錢宛高値八日湯本町三米穀商千葉マツに賣つた事發覺二十四日平署に依つて一圓三十錢高に賣り

平署に虚偽の訴 拘留十日に處さる

鹿島村字走熊折農業者一行のを憤慨し二百圓持ち逃げした(三四)は去る十七日雇人郡山市と平署に虚偽の訴をなし平署で橋本義勝(十九)が無断逃走した拘留十日に處せられた

訪問のお客が 泥棒に早變り

當時住所不定東白川郡豊里村生十時頃前平市警備隊井茂作方に飯川疏水組合常設委員古川傳一(八)は去る二十三日午前十一時二十分頃本町海岸に死体となつて漂着した

法で貸付増次増殖をはからうとするもので、今後五年間に百頭を目指して居る

國勢調査員

本年十月一日行はれる國勢調査の大浦村調査員は左の諸氏が任命され

高木徳治、會川利作、渡邊貫、一、根本榮吉、鈴木長三郎、客相馬郡原町新田商人白井チ、西山藤助、高崎嘉一、吉田久、衛、片寄忠重、片寄市重、和、田忠平、佐久山保三郎、大業、酒井貞三、根本吾郎、猪狩清、鈴木武雄

平局勝つ 第四回仙遊局管内従事員軟式庭球大會は二十日午前十時から仙遊、仙野二部平局の高久、秋山組、一部平局の高久、秋山組、一部仙遊局の高久、吉田組がそれ

石城早生梨

出荷の數、極早生種の石井早生は主として赤井村及び小川村方に作られて居り、昨今早くも出廻り初めて同種のもつ相當な甘味に魅力を見せてゐるが、石井早生は千葉縣が名産地であるが、其の欠点で石城地方にも余り多くを栽培されてゐないが、今年の出来は割合によく近く赤井村から二三車を附近の都市に移出を試みやうとしてゐる、相場は品によつて異なるが大體實當五六十錢を唱へてゐる

死体漂着

四倉海岸にて去る二十二日午後一時半頃水邊で漂着した死体は行衛不明となつた廣野町松本眞一(八)は去る二十三日午前十一時二十分頃本町海岸に死体となつて漂着した

政治は斯かる學國體制を案するものに対して反省せしめ、それを克服統一するものでなければならぬ。國民は強く正しい政治を望んでやまない戦時下の政治の課題は眞の學國體制を完成し、國民の精神と生活と體制とを統一し、國民の正義感と熱意をますます昂揚せしめ、明則にして強力な革新を遂行することにならなければならない。もとより事變發生以來の政府は此の戦時課題を解決するために多くの努力を傾注して來たが、結果から云つて却つて現状維持のため

西日本の生活 (四)

井上 光輝

ではちよつとむづかしいのではな
ないかと思はれる。それも相當
豊富なストックをもつてゐてし
かも縣内の一ヶ村か二ヶ村のみ
でおけぬので、いつそのこと面
北九州の如き影の消費地をひ
でも現金制度になると、生憎
かやれさうにない。二ヶ月や三
さつと歸つて行く。拂つたり
借りたりするとかならず月米の
勘定は間違つてくる。拂つたも
のまでつけ足してやるやうな
ことになる。どうしてもうまく行
かぬので、小僧に「もつと間違
ひのないやうに出来ぬものか」と
と叱りつけると、米を持つて來
なくなつた。他の米屋では前に
書いたやうにお得意でないの
ことはられる。そこでいよいよ
困つた。いつまでも瘦我慢の
ンやうだんでも續かないので、
とうとう小僧に小遣をやつたり
お菓子と興へ機嫌をとり再び
遊してもらふことにした。ど
らがお客様だかまつたく主客
倒の語である。
そのやうな切ないことばかりな
ので、一般に切符制度の實施が
叫ばれてゐる。だが現在の實情
かなかつたものらしい。

この冬の寒波は何十年ぶり
とかで寒いものであつたが、燃
と叱りつけると、米を持つて來
なくなつた。他の米屋では前に
書いたやうにお得意でないの
ことはられる。そこでいよいよ
困つた。いつまでも瘦我慢の
ンやうだんでも續かないので、
とうとう小僧に小遣をやつたり
お菓子と興へ機嫌をとり再び
遊してもらふことにした。ど
らがお客様だかまつたく主客
倒の語である。
そのやうな切ないことばかりな
ので、一般に切符制度の實施が
叫ばれてゐる。だが現在の實情
かなかつたものらしい。

夏は丹後澤へ!!

年々御負担に預り難有御禮申上、本年は
非常時下体位向上の爲格別の勉強を
以て御待して居りますから是非一日
の御清遊を……

丹後澤舟遊會

生花商 花友

平市 電話六九五番

安田生命 保
日本共立火災 險
東京動産火災 險

平代理店

井上貞治郎

平市五丁目 電話六六番

江戸前

壽し

小料理

出前 迅速
平市中央通り
(立食) 鮎 茂
電呼五七〇

平市古鍛冶町

油と味の
吉屋
平市古鍛冶町
電話(營業部専用)一〇番
(一般用)二七番
振替東京一九五七五番

明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

内臓外科

内臓外科 腸胃病科

外科 科醫學博士

整形外科

整形外科 レントゲン科

理學療法科

胃腸

胃腸病科 肛門病科

醫學得業士

性病

花柳病科 皮膚科

泌尿器病科

平市南町 電一〇七
松村醫院

附屬産院 新設

妊産婦入院隨時

産科 婦人科 木村病院

平市新川町 電話一六四番

胃腸によくさく

麻苺散

薬二日分 三十錢
四日分 五十錢
九日分 一圓

平市四丁目 小野屋藥局 電話一四四番

内科外科 産婦人科

院長 安齋 徹
平市田町(電話四五七番)
入院隨意 **安齋醫院**

消食散

二百年の歴史を有する
家傳靈藥 相馬ハンサキ

(一名かげの薬)
丸龜商店
代理店 平市大町 電話一三三番

耳鼻咽喉科

入院自炊の便あり
大和田醫院
平市南町(電話一〇七番)

美味で滋養に富み安價で便利な
國策に添ふ理想的調味料を
御愛用願ひます。知らず知らず
に丈夫になる

天與の食品 印出しの素

一、原料 本品は太平洋の新鮮なる魚を加工し之を乾燥
機にて十二分に火力乾燥製したるもので、化学的の
調味料でなく天與の食品品であります。
一、特長 本品は最も安價にして少量で即座にタンが良
く出て滋養に富み御便利です。少くから經濟上にも体位向
上にも總てに適當な食品です。
一、用法 味噌汁には水一升量に付約三匁、味付御飯に
は米一升に付約五匁、野菜色々の味付等には十人前
に付約四匁、又濃い御飯、漬物等に掛りかけて召上
るも格別です。特にお子様方の御飯には是非御用ひ
下さい。其の他總ての味付に御用ひ願ひます。
一、分量は標準です。味のお好みにより御加減下
さい。大量炊事の場合は約半分です。充分です。
一、保存 濕氣を帯びないやうに密封に入れ置いて美味し
く召し上つて下さい。
一、注意 他に類似品がありますから
商標に御注意 印を御愛用願ひます。

今井商店

電話一三二八番
電話一三五三〇番
電話一三五三三番
電話一三五三六番

特約店 平市五丁目 小名濱町横町 伊藤商店
武子屋 大浦村信用組合
四倉町 福島縣 四倉港
面川商店

氷の御用は 魚問屋へ



魚問屋へ

鯉節製造販賣
(日本生命平代理店)
平市四丁目 志賀盛榮商店